

令和6年度 学校評価アンケートについて

(数値は、AまたはBだった回答の割合)

(1)自ら学ぶ子の育成	R5後期	R6前期	R6後期
1 学校は基礎的・基本的な学力の定着を図っている。	95.2	98.7	97.5
2 学校は、自分の考えを発信する力をつけるための工夫を行っている。	94.4	94.1	97.1
3 学校は話し合い活動や、作品発表会などの工夫した指導を積極的に取り入れている。	95.6	96.2	98.0
4 学校は家庭学習の推奨や、その指導の工夫を積極的に行っている。	88.0	87.4	86.1
5 学校は読書を推奨している。	83.7	80.8	84.0
6 お子さんは学校の授業は分かりやすいと言っている。	85.1	88.3	91.4

この項では、「授業の分かりやすさ」の向上が、基礎的・基本的学力の定着に結びついているものと考えています。これからも「分かる授業・楽しい授業」となるように、努めていきます。

家庭学習の進め方については、学年ごとに発達段階に応じた方法で進めています。家庭学習が児童生徒により有益となるよう、取り組む課題や進め方の指導も丁寧に行ってまいります。また、デジタル教材の効果的な活用についても、さらに考えていきたいと思っております。

(2)個性豊かな子の育成	R5後期	R6前期	R6後期
7 学校全体に活気があり、子ども達が生き生きと活動している。	95.2	96.2	95.9
8 学校は一人一人の個性を大切に、伸ばそうとしている。	90.7	92.1	90.2
9 学校は子どもたちの夢を大切に、将来を見通した教育をしている。	86.6	85.8	86.1
10 学校はお子さんの能力や努力を適切・公平に評価している。	94.8	92.1	93.9
11 学校は命の大切さや人権を尊重する意識を指導している。	93.1	88.3	92.6
12 学校は児童生徒の個性や良さを伸ばすための行事などの工夫を行っている。(音楽発表会、朝集会、委員会活動、クラブ活動等)	94.4	95.4	95.9

前期にやや数字が下がっていましたが「命の大切さや人権」については、評価をいただきました。次年度につきましては、全学級で授業参観において「道徳」の授業を取り上げ、実際の指導の様子を保護者の皆様にもご覧いただきたいと考えております。また、広州の日本企業等とも連携を図りながら、キャリア教育のさらなる充実にも努めてまいります。

(3)国際社会に生きる子の育成	R5後期	R6前期	R6後期
13 学校は進んであいさつをする態度を育てている。	96.8	90.4	91.0
14 学校は適切な言語環境を育てるため、丁寧な言葉遣いの指導をしている。	96.7	87.4	86.1
15 学校は、児童生徒の指導において大型提示装置(プロジェクター、電子黒板)やタブレット端末等のICTを活用した授業の工夫を行っている。	98.6	95.0	97.1
16 学校は英語や中国語指導、異文化交流などを通して国際性を育てている。	95.8	96.7	92.2
17 学校はねばり強く最後まで頑張ることのできる児童生徒の育成をしている。	94.8	87.9	85.2

前期に引き続き「14 丁寧な言葉遣い」について、厳しい評価をいただきました。記述欄のご意見を見ていくと、「友だち同士の会話やゲーム中の言葉遣いが気になる」といった意見が寄せられています。言葉遣いは、相手への思いやりでもあります。学校での指導はもちろんのこと、ご家庭とも協力を図りながら指導を進めてまいりたいと思っております。

「粘り強さ」につきましては、無回答のご家庭が最も多くあった項目です。学校での様子を伝えきれていない面もあるかと思っておりますので、学級通信、学校だより等で、児童生徒の様子を的確に伝えられるようにしていきたいと思っております。

(4)健康・体力・安全・その他	R5後期	R6前期	R6後期
18 学校は児童生徒の体力の育成のため、各種取り組みをしている。	84.3	76.6	73.4
19 学校は校内の衛生面や感染対策等に気を付け、健康な環境づくりをしている。	95.4	92.9	90.2
20 学校は校内の安全点検・整備を行い、安心安全な環境づくりをしている。	94.9	92.5	92.2
21 学校は教室内の掲示物やロッカーの整理整頓に努め、学習環境を整えている。	98.1	92.9	95.1
22 学校はいじめの未然防止、早期発見・早期解決に努め、いじめを見逃さない学校づくりに取り組んでいる。	92.2	86.2	88.5
23 学校は児童生徒及び保護者からの相談に適切に応じている。	96.2	94.1	94.7
24 学校は保護者を学校に迎え入れる雰囲気をつくっている。	95.4	97.1	97.5
25 学校は授業参観及び懇談会、通信、ホームページ、ロイノート等を通して、教育方針や学校、子どもの様子を保護者に伝えている。	96.8	95.0	98.0

子供たちの体力向上に向けた取組は、保護者、教師、児童生徒ともに引き続き本校の課題となっております。厳しい気候条件の中でも、運動や遊びを通して体を動かす機会が持てるよう、施設面も含めて検討を続けてまいりたいと思っております。

いじめ防止等に関しましては、「無回答」となったご家庭が多くありました。児童生徒、保護者の皆様が相談ができる体制は整っておりますが、十分な周知がなされていないことなども原因と考えられますので、今一度情報を整理し、対応を強化してまいりたいと思っております。